

■ 竜王駅 南北自由通路・駅舎【公共建築物等の部門】



選評

甲斐市の玄関口、まちづくりの拠点となる施設として、新たに整備された竜王駅の南北自由通路と橋上駅舎である。

建物の外観は、水晶の結晶や信玄堤の聖牛（治水柵）をイメージし、合併前の旧三町（竜王町、敷島町、双葉町）を一つにしっかり繋ぎとめる「銚（かすがい）」を表したシンプルな形態となっている。

駅や通路の機能が上手くまとめられた建物で、駅の北側と南側をつなぐ自由通路は全面ガラス張りで、ガラス越しには富士山、八ヶ岳をはじめとする周囲のやまなみが見渡せるなど、眺望を生かした開放的な空間をみごとに演出している。

エレベーターや多目的トイレの設置などバリアフリーに配慮し、また、改札口と自由通路の間にはオープンスペースを確保して、ラッシュ時などの利用者の安全性にも配慮された計画となっている。

所在地：甲斐市
建築主：甲斐市
東日本旅客鉄道(株)八王子支社
設計者：安藤忠雄建築研究所
(株)ジェイアール東日本建築設計事務所
施工者：鹿島建設・鉄建建設・東鉄工業JV
構造・階数：S造 地上2階
延べ面積：1,733.00㎡

■ 甲府の家<radiate> 【住宅建築の部門】



選評

甲府市市街地の比較的交通量の多い道路沿いに建つ、1階に車庫を併設した2階建ての住宅である。

建物は、敷地形状に合わせたL型平面で、道路からの喧噪を鉄筋コンクリートの壁とエントランス空間により遠ざけている。

2階の内部建具や外部建具の開閉により生み出される様々なスペースは、L型平面全体に異種の空間を数多く展開させ、多様な住まいの楽しみ方を提供している。

放射状 (radiate) に架けられた屋根の集成材の梁は収束する中心点を持つことで、住む人への設計者の願い (家族のつながり) が込められた造形として表現されている。

所在地：甲府市

建築主：M氏

設計者：(有)アーキテクトカフェ・田井幹夫建築設計事務所

施工者：(株)ひかわ工務店

構造・階数：RC造一部木造 地上2階

延べ面積：302.79㎡

■ ぼくとはるみさん家 【住宅建築の部門】



選評

南に富士山を望む河口湖畔の住宅地に建つ、県産材で造られた木造2階建ての事務所併用住宅である。

屋根は鋼板葺きの切り妻、白い外壁は漆喰塗りで周辺に馴染んだシンプルなデザインとなっている。

内部及び外部の造作は、木、漆喰、石、コンクリート、鉄などの建築素材の持ち味を上手く引き出し、ディテールに至るまでよく吟味されている。1階の開放的で広い空間を創り出す大きな掃き出し窓や、2階居間の眺望を意識した窓など、それぞれ機能をもたせた開口部を設けることにより多様に外部空間を取り入れ、楽しむように試みた設計は特筆すべきところである。

所在地：富士河口湖町

建築主：W氏

設計者：建築設計室アトリエ風 渡邊精一、渡邊晴美

施工者：(有)匠建築工房

構造・階数：木造 地上2階

延べ面積：92.20㎡

■ 古民家再生明見の家 【良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門】



選評

富士吉田市の明見地区にある130年前に建設された民家の再生で、昔ながらの民家の住文化を巧みに現在のライフスタイルに融合させている。

昔の架構の美しさを残しながら、地の松梁や桧柱を補強材として使用するなど、設計者、施工者の卓越した技術により必要な再生、修復を行い、家主が住み続けることは評価に値する。

過去、現在、未来をつなぐ古民家の活用例として意義深く、外観の色彩も豊かな周辺の環境に馴染んでおり、原風景を保全、継承していくという意味で存在感のある建物である。

所在地：富士吉田市

建築主：F氏

設計者：建築設計室アトリエ風 渡邊精一

施工者：(有)匠建築工房

構造・階数：木造 地上2階

延べ面積：274.86㎡

■ 根津記念館展示棟「八蔵」【良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門】



選評

根津記念館は、鉄道王と呼ばれた根津嘉一郎の旧邸宅を戦前の姿に復元・改修したものである。

「八蔵」は記念館の施設の一つで、敷地内にあった旧第八倉庫の外観イメージを再現し、鉄筋コンクリート造一部木造及び鉄骨造の混構造で建築された平屋建ての展示棟である。

常設展示室内部は旧素材の木の架構をインテリアとして有効活用し、その本格的な架構による内部空間の演出は旧邸宅の歴史を感じさせる。

瓦や漆喰を用いて敷地内の建物と馴染ませるなど根津記念館の景観保全に配慮し、また旧青梅街道の面影が残るこの地域に調和させた外観は、原風景の保全を誘引する建物として評価される。

所在地：山梨市
建築主：山梨市
設計者：榑梓設計
施工者：山梨建設榑
構造・階数：RC造一部木造及びS造
延べ面積：334.20㎡
